

## 第4回 三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録

○日 時 令和3年12月3日（金） 19時00分～20時26分

○場 所 南下浦市民センター 講堂

### ○次 第

1 開 会

2 議 事

#### （1）審議事項

議 案1 第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区）会議録の承認  
について

議 案2 第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（南下浦地区）会議録の承認  
について

#### （2）意見交換

意見交換2 保護者向けアンケートについて

#### （3）報告事項

報告事項1 教職員向けアンケートについて

3 事務連絡

4 閉 会

○出席委員（24名）

座長	後藤 克幸	委員	札内 尚	委員	香山 賢一郎
委員	青木 広美	委員	内藤 幸成	委員	川名 大介
委員	小川 哲男	委員	杉田 理佳	委員	出口 悟
委員	前山 裕治	委員	山田 光雄	委員	柴谷 肇
委員	伊藤 修也				
委員	市川 昌樹	委員	五十嵐 徹	委員	宮坂 和彦
委員	鈴木 隆之	委員	石井 宏明	委員	高橋 伸昌
委員	水越 翔野	委員	加藤 貴之	委員	藤崎 誠三
委員	武内 千恵子	委員	中澤 謙介		

○欠席委員（1名）

委員 中原 慎一

○事務局（6名）

増井 直樹	教育部長	塚本 孝治	教育総務課長
高梨 真一	学校教育課長	矢尾板 昌克	政策部政策課長
ソリバン 薫	教育環境担当課長	長島 正紀	教育総務課 GL

◇事務局　こんばんは、皆様、本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。  
います。

開会に先立ちまして、本日は三崎地区と南下浦地区合同の開催になりますので初めに  
委員さんから自己紹介をお願いしたいと思います。

(委員 自己紹介)

ありがとうございました。

本日の会議は合同のため座長を三崎地区の後藤委員をお願いしたいと思います。よろ  
しいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

よろしいようですので、ここからの進行を後藤座長よりお願いします。

◇座長　こんばんは。ただいまより、三崎地区・南下浦地区合同の第4回三浦市学校教  
育ビジョン地域協議会を開催いたします。

中原委員より欠席の連絡がございましたので、ご報告申し上げます。

早速、議事に入ります。

はじめに議案1「第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区）会議録の承  
認について」を議題といたします。

会議録につきましてはすでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆  
さまのご意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については座長一任とすることにつ  
いてご承認いただきたいと思います。

三崎地区の委員さんから修正等のご意見があれば、ご発言をお願いします。

(発言等なし)

なければ、お諮りいたします。議案1「第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会  
（三崎地区）会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正につ  
いては座長一任とすることについてご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

◇座長　つづいて議案2「第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（南下浦地区）会  
議録の承認について」を議題といたします。

会議録につきましてはすでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆さまのご意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については座長一任とすることについてご承認いただきたいと思っております。

南下浦地区の委員さんから修正等のご意見があれば、ご発言をお願いします。

(発言等なし)

なければ、お諮りいたします。議案2「第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会(南下浦地区)会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については座長一任とすることについてご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

◇座長 続きまして、意見交換に入ります。

保護者向けアンケートの素案について事務局より説明をお願いします。

◇事務局 それでは、資料3をご覧ください。事前にお配りしている保護者向けアンケートの設問の内容になります。今後、地域協議会で委員のみなさんにメインでご協議いただきたいのは、この保護者向けのアンケートであります。

本日は多数のご意見をいただけたと思っておりますが、時間に限りもありますので円滑な協議進行にご協力いただきたいと思います。

早速ですが、保護者向けアンケートについてはA3一枚を考えています。これを二つ折りにして裏面には見出しと学校教育ビジョンのアンケート調査に至る背景と説明文、令和9年度までの児童数の推計資料を掲載したいと考えています。

資料4の教職員向けアンケートにも推計資料等がありますが、これと同じようなものを載せる予定です。

最初に確認なのですが、設問の数、ボリューム感については、このレベルでいかかでしょうか。

ご意見等ありましたらよろしくお願いたします。

◇座長 大体これくらいの量だという提案がありましたがいかがでしょうか。

◇委員 集計のしやすさも考えてこの感じになったということでしょうか。

◇事務局 アンケートの作りが、はじめに望む教育を選択していただいて、それに必要な学校の規模を聞いていきます。規模を聞いたところで現状維持、単学級、小規模の学校でもいいという保護者と、統廃合して複数学級を設けたほうがいいという保護者をふるいにかけます。ふるいにかけたところで現状維持、単学級、小規模の学校がよいと答

えた方にこういった思いがあるのかを聞きます。複数学級を希望した保護者にも同様に聞いていきます。集計的にはそれほど難しくないと考えております。

◇事務局 設問があまり多くなりすぎると、中々アンケートに答えていただけない方もいるというのが現実であります。このくらいのボリューム、規模であれば回答率も良くなるのではという考えもあるので今のところこの程度でどうだろうかというところです。

◇委員 設問の数に対して回答の数が2つ3つあるのをもう少し増やすことは出来ないか。

いくつか読んでみると、もう少し回答の数字を入れたいということと、前回、南下浦地区でも今までの会議のどこかで話は出てきていると思いますけれど、前回の会議の資料、記録を見てもらうと分かるように PTA にも学校にも関係ないところで存続を希望する署名活動がされているじゃないですか。

5,000 ないし 6,000 の署名が集まっているのだけれども、ここに現在教育委員会を出している学校教育ビジョンに対しての理解度についてと、学校の統廃合についてどう思うのかを載せた方が署名運動よりも現在子どもを通わせている親としての意見が吸い上げられる確かな数字になると思いますが、それは載せませんか。いかがでしょうか。

◇事務局 率直な直球的な質問についても今日示している資料になるまでにもいくつか試行錯誤をしているのですけれども、最終的に今日お見せしている設問内容は直球を避けた内容になっています。

もちろん地域協議会で出た意見も反映させるべきと思っていますので、設問の具体的なアイデアをいただけたら採用していきたいと考えています。

◇委員 流れから言うと今日固めるわけではなくて意見をいただいて、また会議を開いていくという方向でよろしいでしょうか。

◇事務局 はい、そのとおりです。12月の市議会でも答弁しているのですけれども、意見をいただいてまとめてお見せして、また意見をいただいてこれを繰り返して作っていくという考えであります。

いつまで、ということもありますが、なるべく早期には実現したいということも言っておりますので何回か行ったあと、もうこれでいいのではというところでアンケートの完成としたいと思います。

◇委員 一つ質問なのですが、教育委員会にお聞きしたいのですが、直球を避ける理由はなんですか。

結局、直球がないからそういう人たちが都合よく解釈をして署名活動を起こしてまた一旦最初のベースに戻してとなると余計時間を有するような感じがしないでもないのですがその点についてどうお考えでしょうか。

◇事務局 直球を避けるという言い方をしましたが、この学校教育ビジョンについては賛成の方と反対の方がいらっしゃいます。例えば反対の方を怒らせる内容、賛成の方を怒らせる内容、感情を逆なでするような表現はあまりよくないのではないかという判断です。

◇事務局 今のところは素案を作る段階ではそう考えたということですので、協議会のご意見の中でその辺はしっかりと聞くべきだろうということであれば持ち帰って検討させていただきたいと思います。

◇委員 先ほど3つマルを増やしてほしいという意見もありましたがその辺りはいかがですか。

◇事務局 例えば3つ選ぶところを5つにするのは十分ありだと思います。

◇委員 恐らくマスが増やしてあって、「そこに当てはまらないものは記入しないでいいですよ」と書いてあれば1つの人もいれば5つあれば5つ書く人もいると思うので、その一文を載せて回答する枠を増やしていただければ丁寧ではないかと思います。

◇座長 では、そのことを踏まえて進めていただければと思います。先ほど出た項目については、一人ひとりご意見をいただいた方がよろしいかと思うので時間に限りがありますが皆さん一言ずつ発言してほしいと思います。

◇事務局 続きまして、アンケート用紙資料3の1番の基本情報なのですが、各小学校あなたのお住まいのお子さんの小学校区はどこですかと聞いているのですが、これは集計上必須と思っていますがご意見等ありますでしょうか。

(意見等なし)

◇座長 これはよろしいですね。

◇事務局 では、その下の2番の「未就学のお子さまか小学生のお子さまをお持ちですか」というところなのですが、これはもちろんご兄弟がいて小学生も未就学児も両方いるよっていうご家庭もあると思いますので、それについては両方いるというような枠を設けるか小学生がいるのだったら小学生を優先した方がいいのかなど何かご意見等ありますでしょうか。

◇委員 基本情報の中で未就学児がいるということになると、例えば未就学児だけの保護者のアンケートは届くものなのですか。

◇事務局 郵送で依頼します。

◇委員 その場合は、1番の小学校にはマルは付かないという認識でよろしいでしょうか。

◇委員 おそらくどこの学区かは分かっているのではないのでしょうか。

◇委員 例えば、地区が三崎地区で岬陽小学校に通わせたいっていう場合の保護者もいるのですが、逆もありますけれど、名向だけ岬陽に行きたいなど、教育委員会には柔軟に対応していただいている状況なのでそこは保護者の方を困惑させないようなかたちでお願いします。

◇事務局 では、あなたのお子さまはというような聞き方ですかね、どの小学校区ですか、三崎小学校区だけ岬陽に行っているから岬陽を選択するような注意書きをすればよろしいですか。

◇委員 「どの小学校に入学予定ですか」など。

◇委員 これは何のために小学校区にマルを付けさせるのですか。

◇事務局 集計上どこの小学校の保護者がこういうことを思っている、というのは地域性で、例えば統廃合についても三崎地区と南下浦地区で分けて検討していますので学校ごとの特徴は必要ではないかと考えております。

◇委員 住んでいるところと通っている学校が違うとなると意味がないのではないかと。

◇事務局 ご自身のお子さまが通う学校を主体に考えていただきたいと思っているのでその文を入れるかどうかなので意味はあると思っています。

◇委員 はっきりさせないと先ほど言われたように学校での人数を把握したいときに取り方によっては全然違う結果になってしまうのではないですか。

◇事務局 学区外に通っているお子さまは少ないのでそれほど影響を与えるものではないと思っています。

◇座長 現実的にはおそらく今教育委員会が答えているとおりでと思います。大きな影響を与えるような人数ではないと思います。これでいいと思いますが、いかがですか。

◇委員 最初の方の発言にあったのですが、1番②の兄弟がいる場合は「複数回答可」と両方にマルしてもらえればいいのではないのでしょうか。

◇委員 それだったら人数を書いてもらった方が、未就学「1」、小学生「0」とか具体的に分かりやすいですし、その方が質問の内容もスッキリ分かります。

◇座長 今のご意見について教育委員会としていかがでしょうか。

◇事務局 ありがとうございます。そうですね、人数という案をいただいたので持ち帰って修正して次回またお示ししたいと思います。

◇座長 では、続けて進めてください。

◇事務局 続きまして、設問部分2-1になります。こちらでは小学校の教育で重要視するもの、このバージョンでは選択肢を3つまでとしています。いわゆる小規模校でのメリットで言われている項目や統廃合によるメリットだと言われている項目の記述もありますが多くはどちらとも捉えられる項目としています。

次の2-2では2-1で選択した教育の達成に必要な学校規模を聞いています。ここで1の「現状のままでよい」と表記をしていますが、改めたいと思っております。初声小学校で現状維持を求めた場合、12学級以上と同じことになってしまいますので1の表現を改めたいと思います。例えば小規模校がよい（6学級以下）というように修正したいと思っておりますが後ほどご意見をいただければと思います。

続いて2-3は小規模校でよいと選択した方みの設問になっており、こちらは小規模でもよいという理由を選べるようにしています。

続いて2-4では逆に2-2のところで複数の学級が必要であると選択された方へ重要視すべきことを聞いています。

最後に設問3では学校教育以外で学校に期待することを聞いて終わりとしています。設問の説明としては以上になります。

◇座長 先ほど2の小学校についての①については皆さんからの意見として1から5ということですのでよろしいですね。それから②の1「現状のままでよい」というところはそうでないとおかしいので、先ほど提案があったような表現の仕方でよろしいですか。他に表現の仕方があったらお願いします。

(発言等なし)

◇事務局 先ほどの繰り返しになりますが、「小規模学校がよい（6学級以下）」という表記に変えたいと考えています。

◇座長 3については小規模校を選んだ方に2つ選んでくださいとなっていて、4については2、3を選んだ方に2つとなっています。ここも先ほどと同じように増やした方がよいのかそのままでよいのかご意見あればお願いします。

◇委員 まず1の重要視するものとありますが、この「②の選択した教育を達成するには」というところで上手くかかっていないと思うので、例えばICTの利活用の情報処理に理解を深める教育をするというのは、おそらく学校の規模はあまり関係ないと思うのでその紐づけがされていないところがこのアンケートの矛盾しているところかなと思います。体力の向上も子どもの数が多いから向上するわけでもないし、無理があるかなと思います。

もう一点、②の設問の「現状のままで良い」は変えるっておっしゃっていましたが、学校の規模を聞いていることに対してクラス替えができるって利点とかメリット・デメリット含めて書いてありますが、果たしてこれだけなのか、多分いろんな要素があると思うんですね。複数学級のいいところにクラス替えが出来る出来ないがジャッジメントの要素に入っているのが少し違うかなと思いました。

あともう一点、④は、これは2、3を選択した場合という言い方ですが、これは②、③を選択しなくても答えるという受け取り方もできるので日本語の部分で「2、3を選んだ方にお聞きします」の方が分かりやすいのではないかと思います。

◇委員 ③のところでは1を選択となっているのに、④のところでは書いていないのでそこはそのように修正した方がいいと思います。

◇座長 今出た2-①、②に対して他にご意見ございませんか。

◇委員 2-②の先ほど事務局からありましたが1番をあえて「小規模校（6学級以下）」と小規模校とうたうことによって逆に直球的な言葉になってしまうのではないかと。それであれば通常どおり（7～11学級）のように（6学級）というような方がよいのでは、今取りざたされている小規模校というのが直球すぎるのかなと思います。

◇委員 現状という言葉が資料をもらった時から引っかかっていまして、確認ですが、この現状というのは「今」ではなくて「今から未来へ向かっていく三浦市の教育についてのこと」を含めた回答ということでしょうか。

先ほど初声小学区の場合、全部2クラスとのことでしたが、令和9年度からは初声小学校も1クラスになるんです。もっと言うと単級の学校と言っても様々あります。1クラス20人以上というような1クラス（6学年）、将来見えるような例えば男女比でどちらかが1人しかいないところとか、学年が1クラス全学級でも1つの学年で10人もいないような集団、そういったことが将来見えてきているというところでただ1つの小規模校このままでいいでしょという風に受け取られないほうがよいのではないかと思います。この現状という言葉がどのように解釈され、単級という言い方をしましたが、単級以上の聞き方をしてもいいのではないかと思います。将来10人未満の学級はたくさん出てくると思います。それでもよいのであれば③のところはどういう考えなのかをお聞きしたいです。

◇事務局 2-②の学校規模を選ばせるのは、現状とは「今現在」という思いでワード

を使っていましたがこれは持ち帰ってここの表記の仕方については再度考えたいと思います。

◇事務局 先ほど2-①と2-②の紐づけの理由が乏しいのではないかと問いですが、これについては色々な捉え方があると思っております、例えば体力の話もありましたが大人数で球技をした方が体力向上になるのではないかと、小規模10人しかいない1クラスで行うよりは大人数でした方が体力向上にもなるし切磋琢磨できる。そういった意味合いで捉えられることもできるかなと思っておりますし、ICTについても少ない方が先生の話をよく聞ける、多い方でも子ども同士で情報交換した方がICTの能力も高まるなどいろんな考え方ができると思いますので、基本的な紐づけの学校の規模に通じるかという温度差はあるかと思っておりますがここは全体を見直す中で精査していきたいと思っております。

◇委員 今問題のところで「現状のままでよい」というのがおかしいのではないかと話ですが、実際に答える方は保護者の場合は実際に通っている子どもたちの今を見るのですよね。それで今まで反対や署名運動があったものは、現状のものに対して学校がまとまることに対して否定的だったり、「もう一度考え直せ」といった意見が出ているのですよね。そのところで「現状のままでよい」については、その人たちの意見を聞くことになると思うのですが、小規模校がよいというかたちと全然違うことになりやすいですね。今通っている学校についてから離れて問題を聞くことによってやはり現状のままの方がいいと答える側としては分かりやすい。

前回の三崎地区の会の中で話があったこの統廃合については白紙に戻したわけでない、基本的には時間的に遅らせてでもやるというかたちに議事録としてもそういう書き方がされているのですけれども、そういうことがアンケートを作る側のベースになっていて、いわゆる本当に統合することが気になっている人たちにとっては答えづらい部分もあります。これについての基準がどういう形ならばどういう方向でこういう答えが出てきたらこういう風に進みましょうと今のままでは何もないわけですね。

◇事務局 アンケート結果の分析はこちらの考えをお示しますが、その分析に対するご意見も地域協議会でお聞きしたいと思っております。

◇委員 教育委員会的には白紙撤回をしてないわけですから頭の中では将来にわたって統廃合の部分が残っているわけです。アンケートを取るのもいいのですけれども、もっと直球で聞くのならばなぜ少人数の学校でいかないのだという考え方も出すべきだと思います。

◇事務局 そちらについては、今日は示してないですけども裏面のところに、なぜアンケートをお願いしたいのかというのを記載することになります。また、小規模校のメリット・デメリットいろいろのご意見もありますから、それに対する資料も全部は載せきれませんがホームページに関するリンク等を紹介する構想を練っているところです。

◇座長 2のところは次回また具体的な設問が出てくると思いますのでご意見等いただければと思います。

◇委員 先ほどの意見に違和感を覚えたのですが、つまり現状がいいけれど、その現状がこの先ずっとは続かないと思っているのです。ですから、この協議会で話されていると思うのです。今の状態が今後も続くのであればこんな話にはならないと思うのです。

子どもたちのこれからの人数を見ていったときに、どういう対応をしましょうかというところでこの話になってきていると思います。そのために賛成反対があって議論するのは構わないと思いますが、アンケートをやるときに現状がいいですっていうのをとって、「そうですね」で終わりではなく、そこを前提で我々は協議をしているのにズレている気がします。なので、今言っていた現状を見ながら未来の子どもたちに僕たちは何を贈ることができるのかという協議をしているのだと思っています。

具体的に見ても男の子7人女の子1人のクラスができます。そこに6年間通います。となった時の保護者の気持ちを考えませんかということだと思うのです。「その子は別の学校へ行けばいいんじゃない」「残りは男の子だけ残ります」その選択をこのまま何もしなければ保護者に強いるわけです。

ただ5校一度にというわけではないですけど、保護者の気持ちも考えて子どもにどんな未来を用意してあげられるかを考えていくのがここの協議会のすごくメッセージとしてあると思うのです。でないと、こんなに子どものことを考えずに反対、賛成、いつまでもこのまま協議を引延ばしていこうみたいにやっていったらどんどん子どもたち1年生が入ってくるのですよ、そこを考えて発信していきましょう、そのためにアンケートが必要だとなったのにこの前提がズレたなら話にならないような気がすると思います。

◇委員 いわゆる教育ビジョンの中での前提で人数が多い方がいいと、その理由が多人数と少人数で比較したものがあられるのですけれども、その中に先生の教育というものも入っていたのです。

では、なぜ三崎地区で少人数の場合できないのですかというところの議論が何もなされていないのです。その部分をまずした方がよいのではないですかという話をしているのです。

◇事務局 小規模、単学級、子どもの数が少ないという現状は今で言うと初声小学校以外はすべて当てはまってきます。

その小規模の学校で何ができるか、どうやったら複数学級の子どもたちと同じような教育ができるだろうかについては、常日頃、学校の先生たちは研究されながら今日まで来ていると思います。小規模校でできることについては日々学校で考えられているとおもっています。ただし、今言われたようにこんなに少なくなっちゃったね、これからはもっと減っていくねと考えたときに統廃合した方がいいだろうっていうのが学校教育ビジョンだと思っています。ただし、やり方を見直そうということで教員向けのアンケートをします。また保護者の意見を聞いて、さらには来年度地域住民のアンケートもできた

らということで準備をしています。そこに小規模校でできることの検討っていうのは少し違うかなと思っています。

◇委員 設問②のところで「現状のまま小規模にする」となっているのですが、ほかの項目はすべて「その他」という自由に書く項目があります。このまま直球に行かないでもっと分かりやすく1「一学年1～2クラス」、2「全学年複数クラス」、「その他」とした方がどのように望んでいるのか分かりやすいのではないのでしょうか。

現状とか入れるよりも簡潔に答えられるのではないのでしょうか。

文言を反対の意見じゃなくて小規模、単学級、クラス替えができるっていうのは学校の方針でやればいいことであって、保護者が何を希望しているのかを聞くのだからもっと簡潔に聞いてほかの項目に「その他」があるのだから意見がある人はそこに書くだろうし、その方が分かりやすいと思います。

それができないのであればほかの項目に対しても「その他」はいらないと思います。

◇座長 「現状のままで良い」は無くなって違う文言になりますので次回提案がなされますので確認していただければと思います。ご意見として承ります。

時間が押してきているので一人一人ご意見をいただきながらまだ発言されていない方もいるので簡単で結構ですので短くお願いしたいと思います。

◇委員 今回一旦立ち止まる。となった時に市民への説明不足もあったので学校教育ビジョンの詳細がこのアンケートを通じて分かるようにもしくは、全て載せると偏りがあるのであれば、URL を載せたりアクセスのしやすい形にしてこれをきっかけに学校教育ビジョンを見てもらえるような工夫があってもいいのかなと思いました。

◇委員 今お話があったように学校教育ビジョンが何のために統廃合したらいいのかイマイチ皆に伝わっていないような気がするのでそのあたりを全面的に出してからのアンケートにした方がいいのではと思っております。

◇委員 前回初めて参加しまして、実際かかわってくるのが未就学児を抱えている家庭が大いに関係してくると思うのでその人たちの意見を吸い上げてあげるようにしてほしいと意見させていただきましたが、小さい学校、大きい学校でもそれぞれいい部分はあると思うので未就学児世帯の意見を取上げて、小さな小学校で教育を受けた子たちって今度中学校へ行った時に急に人数が増えて子どもたちがどのような考えを持ったか中学生の子の意見を実際聞いてみるとその違いがよくわかるのではと思いました。

◇委員 以前からお願いしていた部分なのですが、学校に通っているのは誰なのだろうと考えたときに児童、生徒であると思いますので出来ればここでアンケートを取っていただきたいともう一回お願いしたいと思っております。詳しく知っているのは小学生、中学生であるのではないかと思います。

◇委員 自分の子どもが上の子が4年生で剣小に通っていて、下の子が2年生で南小に通っている状況です。

下の子の時に児童数が4人しかいなくその内2人が他の学校へ行ってしまう、女の子2人だけが剣小だったのですけれども、親として1人が休んだら1人で授業を受けなければいけない、修学旅行2人で行くのか、そのようなことに直面した代でした。

南小の方が児童数が多いよというところで南小に通わせています。実際に未就学児の保護者の方も情報を探りあっている中で今年は男の子何人、女の子何人、全体で何人いるのかというあたりでどの学校もそういう段階まで来ている状況です。

子どもの気持ちを第一に考えると2人で授業するのは寂しいよねっていうのを幼稚園のときに確認してその言葉が出たので自分は子どもの意見を尊重して南小に通わせているので、どの学校の子も自分の意見はしっかり持っているので子どもの意見を第一に考えていければなと思います。

◇委員 私もいまのお話のように子どもの意見を大切にしていって男女比率や行事の規模、運動会や修学旅行のことも色々考えてアンケートも大事ですが、そういうことも考えてしっかり今後学校教育ビジョンで話し合っていければと思います。

◇委員 大乘区の未就学児を抱える保護者やの方たちを集めて話し合いをしてみたのですが、そこでなぜ少人数だとまずいのかっていう意見もありました。大人数よりも少人数の方が先生の目が行き届きやすいし、少人数のすべてが悪いのではなくて少人数のメリットもあるのではないかと、また統合してしまうと、例えば上宮田の方まで来なければならぬ。距離があるため学校への送迎をしなければならないとなります。

今年の7月に大乘区のバス停が国交省に日本でも有数の危険なバス停に認定されました。小学生を持つ保護者は誰ひとりバスに乗せなかったのです。いじめのこともあるとは思いますが先生の目が届くのはやはり少人数の方がより届きやすいというのが皆の意見でした。

◇委員 来年度から剣小に孫が上がるのですが、人数が減っていて最初はいいかもしれないけれど女の子も男の子も思春期を迎えますよね、そうなったときに不安だなと感じ上小に通わせることも考えたのですがけれど教育ビジョンの反対活動や周りの意見に流されて、子どもも近所の子や友達と離れるのが嫌だとなったので、とりあえず剣小に通うことにしているのですが、これからは親同士での探り合いの状態が続くと思うので前々から教育委員会の方には強く言っていたんですが、最初の周知の仕方が悪かったのと三崎中と上原中が統合する際にも最初に出たのが子どもの通学手段なんですね。

まずそこで三浦市が学区の子たちが困らないようにスクールバスを出しますからという話で持っていければこんなに反対はなかったのではと、もう少し三浦市、議会でも一番親が懸念しているところを改善してからの話ではないのかと訴え続けていたので今後できるだけそういう方向にいてもらうようには願っています。

◇委員 きめ細かい指導という言葉が出てきたので、教員としてなんですけれども、き

め細かい指導というのは小規模校だからできる、大規模校だからできないということではないと思います。

一つのポイントは1クラスの中にいる子どもの数が今まで小学校では1学級 40 人までだったのですけれども法律が変わりまして 35 人までと段階的に実施されていて、今後中学校でも同じようなことを求めていきたいとなっております。

もう一つは教員の数を増やすこと 1 人の先生が複数を見るのではなく複数の先生が多くの子どもたちを見ていく。そういったことで、きめ細かい指導とは国や制度の方で作っていくべきものであって人口減少によるすごく少なくなってしまうという結果論の関係で作っていくものではないと思っています。

◇委員 教員の立場として考えるところがあるなと聞いていたのですが、何のためにと  
いうところはもう少し丁寧にしなきゃいけないのかなと思いました。

資料4を見させていただいて教員が見ればすぐにわかるのですが、今までの地区説明会に行っていない方ですとか、これから初めて資料を渡された方にこれを見て統合とかが必要なかは見えてこないと思います。

私は現場で働いていて教育ビジョンがこれからどうやって議論されてどう進んでいくかは置いておいて、学校の指導は全然違って、今まで自分たちが受けていた教育とは違うそれで色んなかたちで指導をしていく中で限界もあって、子どもにはこういう力が求められているのだよということを本当に理解していただいた上で進めていかないと何のためにやるのだよっていうのを一枚で収まるのは無理かもしれないのですが、お金もかかるかもしれないけれど丁寧に説明しなきゃいけない、初めて聞いた方にも分かりやすいものを作っていただけると必要なものも明確になってきて前向きな議論ができるのではないかと思います。

◇委員 教育ビジョンの話がスタートしてから三崎地区で反対の署名運動があり、そのあとアンケートをとるならこういうかたちでとか、もう一度考え直してほしい等の提案がありました。

それが実際に子を持っている親の本当の気持ちだと思うのですよね。

不安の材料が何かということのきちんとした説明がはっきりと伝わっていない。

もう一つは教育ビジョンとして書かれていることは実現できれば素晴らしいことですが、実際の運用面のかたちで議論がされているので片側だけしか捉えられていない、今持っている教育ビジョンというのは少人数のクラスでできないのか、そういうことに対してのアナウンスは何もないわけですし、そういうところを実際にそれだから三浦市はできないのですよと会報等で住民に知らせることが必要じゃないかと思っています。

このアンケートの中でも捉えられるのではないかと思います。

◇委員 アンケートを見て堅苦しい点もあるしやんわりとして未来に向かって優しいアンケートならもう少し皆さんに協力してもらえるかなと思いました。

◇委員 皆さんの話を聞いて、何のために誰のためにと非常に共感を受けたのですけれど

ども、私は立場が逆で一人娘が中2でして、小学2年生の時から小学校でPTAをさせていただいて、その当時300人近くいた児童が段々とかなりの人数が減少していききました。中学校に入った時に小学校の運動会を見させていただいたのですが、もう200人切ったくらいで徒競走でもすぐに終わってしまう、何をやってもすぐに終わってしまう状態であるというのは確かに肌身に感じました。

ただ、保護者の立場で言うと統合すれば通学が遠くなったりと色々なデメリットがもちろん出てくるのですが、現在徒歩の子もたくさん危ない目にあっている子もいますので、保護者の方が安心してできる助け舟みたいなものを何点か出していただかないとアンケートを取っても中々前に進まないのではないかと思います。本題に入るのが1、2年生の保護者になるので慎重に進めていただければなと思いました。

◇委員 皆さん様々な意見があると思いますが、先ほどもありましたように子どもたちのためを、と改めてその原点に立ち返りたいなと思いました。

また、スクールバスにしても母校がなくなるという方の反対運動、そういう方に対しても廃校になった後の施設利用等、具体的な案があれば皆さん選びやすいのではないかなと思うのでその辺もしっかり協議していきたいと思います。

◇委員 教育ビジョンの会議に参加させていただいて、子どもの母親として小学校に通っている間いろいろな不安がある中で子どもの人数も減っていていろんな問題があり、下の娘の時に初めて学級が1クラスになって保護者間でも不安があり、子どもたちの中でもあったと思うのですけれど、何とか卒業し、その中でこういう時にこういうことがあったと意見を言えたり、聞けるのですけれど、今未就学児の保護者の方たちは何もわからない状態が多いと思うのでいろいろなアンケートにしてもこれから先のことにしても小学校の前には保育園、幼稚園に行ったりとあるのでこれから先の子どもの未来が元氣よく明るい学校生活を送れるような教育ビジョンのかたちになっていければいいなと思いました。

◇委員 先ほど三崎・上原の統合の話にも出ていましたが、全部の会議に出ていた唯一の人間ですから分かるのですが統合するには非常に体力を使います。

なぜかと言うと、反対が多ければ多いほど聞かなくてもいい意見を沢山聞きます。かといって、今回の教育ビジョンが全く悪いものだとは思っていません。

ただし、アナウンスの熱はあまりにも足りない、理解されていない、知らない人が多すぎる。だから、良いものだと思うのであればもっと周知、説明、宣伝等もっと熱を入れてやってほしいのです。それを理解されていない人には、一番怖いのは先ほど話にもあったような人にアンケートを出すことなのです。周りの意見から自分の意見でないものから入る可能性がある。

ですから、もっと教育ビジョンに関してはアナウンス、説明をもっと熱をもってやっていただきたいです。それで統合するなら一気にという気持ちもあったのですが、職業柄初声地区の保護者の方に知り合いが多いのですが、小中一貫校みたいの一年生から中学三年までずっと一緒にいるじゃないですか、そうすると高校へ行った時に友達が

できないっていう子がいるのですよ。混ざることを知らなかったから、幼稚園、保育園から小学校へ入った時に初めて混ざっただけけれども、小中一貫校でずっと上がっていくと言いが悪いかもしれないが、他の人に混ざる能力が無いのではないかなと混ざり切れる能力が無い子がいるのじゃないかなと感じます。私は、教育ビジョンを進めていく中で子どもたちが少なくなる数字を見ているのでいずれは全てが三崎地区、南下浦地区でも一小、一中になるのはしょうがないことだと傾いておりますが、段階を追って統合するのが理想ではないのかなと今思っている次第です。

◇委員　今回いただいた資料3、資料4のアンケート実施調査とアンケート票を保護者に渡された瞬間に統廃合含めた意見の集約だろうと概ねの方が分かると思います。ただ、言っていただいたように教育ビジョンをもう少し前に出してください。その中でアンケートを出しながら今回初めて協議会に参加しましたが私自身とても残念です。

今いる8校の小学校の子どもたちは自分の学校が一番大好きなのです。

アンケートを取っても絶対この学校でいたいと思うのです。ただこの現状お話しさせていただいているのは通学が遠くなる親の考えのネガティブな意見です。ここでもしできるのであれば、交通手段はこうできるよね、もっと前向きに令和9年度で示されている人数が出ているわけですから親としてではなくて協議会委員として未来の子どもたちに示せるような会議体であることをすごく望んでいますし、いろいろな問題がある中、一番の問題は人数が少なくなるので子どもたちの交流も少なくなる、ただ今いる8校の小学生の子どもたちは自分の学校が一番大好きだし、友達とも離れたくない、その現状をいかに統合しながら親の目線ではなくて未来永劫の考えを結びつけられるような会議体が望ましいのではと思います。

◇委員　アンケート2-③の選択肢ですね、「現状のままでよい」と答えられた方にアンケートなのでその人の考えが選ばなければいいのですけれど、例えば児童一人一人のきめ細やかな指導ができる、先ほども話に出てきましたけれど学級数が少ないからきめ細かな指導が受けられるっていうのは違うのかなと思います。

少ないから一丸となりやすいも違うのかなと、多い方が逆に一丸となれるのかなとも思いますし、6番、人間関係が深まりやすい多くの人数が関わることで、私の子どもたちはもう高校生、中学生ですが小学校に通っている子どもの保護者の方の様子もわかるので、未就学のお子さんに関してはこれを見せると学級数が少ないときめ細かい指導が受けられて、多いと受けられないのかなと捉えられてしまうような項目が多いのかなという気がしました。

◇委員　大人の立場の私たちが集まるといろいろな意見があると思いますが、子どもたち未就学の子がこれから小学校へ行くにあたってゼロの状態で行くと思うのですね。だからその子どもたちがどうやって楽しい学校生活を送れるかっていうのを考えなくてはならないと思います。その後ろには確かに保護者の方がいて、保護者の方たちがネックになっていることは通学距離なわけです。そうなったときに学校ごとでの具体的な方法を目に見えるようなかたちで、保護者の方にも方向性が見えてくるのではないかなと思います。

ます。

ただ、保護者の中で学校選びが始まっているのは確かなことですし、三浦市外（横須賀市）の学校へ行けばそのままスムーズに学校生活が送れる、途中で変わらなくてもいいという意見があるのも確かです。

◇委員 先ほど賛成派と反対派の話があったのですが、それ以外にどっちでもいい派という方もたくさんいると思います。

自分たちの子どもが関係ないからどうでもいいという方も多くいられる中で、先ほど言われていたようにこの協議会は未来を見据えて建設的な意見をすところであると再認識いたしました。アンケートを取るときに直球を避けられないときが出てくると思うのですよね。

このままいくとただの満足度アンケートになってしまう危険性も絡んでいるかなと思うので、個人的には市外の小、中、高と通っていて私学で2クラスだけでした。他の私学ではクラス数も多かったのも、それだけ友達が多くなる、将来的に豊かな人生になりうるという風に思っていますので教育ビジョンで未来を見据えたときに一学年10人を切ってしまうような考えられない事態が待ち受けている危険性として熱をもってやらないと乗り越えられない問題ではないかなと今日改めて確認をしました。

◇委員 剣崎小学校は現在、2年生がいません。

先ほど会長からも話がありましたが、保護者と話をする中で剣崎小学校の良さといえど人数が少ない中での教育活動が非常にいいよと褒めていただく部分が多いなと思います。

ただ、そんな中でも5人以下のクラスだったり、男の子1人、女の子1人、2人だけのクラスに自分の子どもを通わせるとなるといくら少人数がいいとはいえさすがに考えてしまうという正直な話を伺っています。

これから剣崎小学校に子どもを通わせる保護者の皆さんはそれなりに不安を抱えていると思います。人数が極端に少ないところに自分の子どもを通わせることについての不安をお持ちの保護者の方は多いだろうと思いますし、これから先の人数を見てみた時には、その不安がかなり高い、とそういう保護者は結構出てくるなと感じざるを得ないと思っています。

今回のアンケートを取るときにそういう方達の不安が拾えるようつまり私たちがこういう会議を行っているということはすべての子ども、保護者が安心して学校に通える学校づくりをしていこうというのが大きな目的だと思うので、そういう目的に繋がるようなアンケートであってほしいと思います。

◇委員 自分は神奈川県教育委員会に勤めていたことがありまして、県内の色々な学校や地域を見てきました。文部科学省の仕事も手伝っていたことがありまして全国の状況も見ています。その中で三浦市の教員はすごいなと思っています、これだけの厳しい状況でよく頑張っているなというのが正直なところでは。

子どもが少ないから、不安だから、横須賀へ行きますよってという保護者はもったいな

と思います。三浦で教育を受けた方がいいよと、小規模校、大規模校だろうと三浦市の先生方は本当に必死に一人一人の子ども達のために間違いなく頑張っています。

そういう三浦市の教育環境をさらに良くしていくためにどうすればいいのか、保護者が安心して通える状況を作って行けたらばいいなとそういうものは地域協議会から前向きなメッセージとして発信できていくとそういう人達にも三浦にしようかなと思ってもらえるのだろうと思っています。

◇委員　いつも言うのですけれども、学校って子どもに力をつけるところだと思っています。これは学校の規模は関係なくて、どこでも力をつけなければならない。それについては保護者や地域の協力を得ながらやっていくと思っていますところでは。

ただ、様々な努力、工夫はしているのですけれども立ち行かなくなるというのが数字で見えてきていると、何故かという先ほど自分の子どもが南小と剣小に分かれたと仰っていましたけれども、保護者の不安は必ず子どもに伝わるんだと思うんですよね。子どもが不安なまま学校に来ているとなると私達が自助努力だけではどうしようもない部分も出てきますし、そこを考えて取り除かないと我々がしたい教育っていうのは出来なくなるのではないかと、教育ビジョンの理念は大いに賛成なのですけれども、たくさん意見が出ていますけども広報が上手くいっていない気がするのですよね、このところをどうすればいいのか、アンケートで広報というのは難しいかもしれないですけどこのまま保護者の方が不安なままお子さんを学校へ行かせる、または入学の時にギリギリの判断を迫られるみたいなことがそのまま不安に残ってしまうということがあると思います。

◇座長　今までのご意見を参考にさせていただきながら進めていただきたいと思います。

それでは、続いて報告事項に入らせていただきます。教職員アンケートについて説明をお願いします。

◇事務局　教職員アンケートについて簡潔に説明させていただきます。

これから先、未来を生きる三浦の子どもたちのために、生きる力、よく言われているのが仲間と協力して解決する力であったり、または、様々な情報から新たな価値を見出す力、そういう力を育てるための教育として、教育の専門家としてどういうことが重要ですか、という教育内容に絞って問いかけているアンケートになっています。

昨年度休校中に全学校を回って教育ビジョンにつきましては教員に説明しておりますけれども、今後改めてこれからの三浦の姿を共有するために数値を記載しています。

続いて、教育内容に絞っているということなので生きる力を育むために重要視するのは何か。5つの枠があって先ほどと同じようなかたちになっています。すべて大切ですがさらに「重要だと思うものを5つ以内で選んでください」としてあります。

また、その中で当然子どもたちの力をつけるためには、教職員の授業力の向上が必須になります。その授業力を上げるためには何が大切ですか、という設問がCになります。A～Cを含めてそれを実現するために必要と考える学校規模、クラスの人数というものを次の設問で聞いていきたいと考えております。そして小中連携についてです。

最後に、校種別、先生方の意見を集約・分析するために必要だと思っているのが教職年数、単学級、普通学級の担任の経験があるのか、在籍の学校についてとしながら正確に分析ができればと考えております。

◇座長　今の説明を聞いてご質問等ございますか。

(発言等なし)

◇座長　では、質問等ないようなので、報告は以上となります。  
続いて事務連絡を事務局からお願いします。

◇事務局　沢山のご意見等ありがとうございました。次回までにまとめてお示ししていければと思います。

なお、次回の地域協議会も合同というかたちでお願いしたいと思います。年内は厳しいかと思しますので日時、場所については改めてお知らせする予定です。資料は概ね一週間前までにご用意いたします。

それと、前回の協議会ニュースまだ発行ができておりません。経過の説明だけではということもありますので今回の地域協議会ニュースと併せた内容でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

最後になりますけれども本日をもって昨年から一年以上この協議会で議論を重ねていただいた委員さんで2名の方が今日までとなりまして次の方に引継がれます。

保護者向けのアンケートについて本日ご意見いただきましたが、これと併せて教員向けアンケートの報告もいたしました。その他ご意見等ありましたら教育総務課までご連絡をよろしく願いいたします。

◇座長　只今の連絡でご質問等ございますでしょうか。

(発言等なし)

なければ三崎地区・南下浦地区合同の第4回学校教育ビジョン地域協議会を閉会いたします。長時間にわたりましてありがとうございました。

---

◇ 20時26分 閉会 ◇

---